

令和7年度 都民安全総合対策本部 予算案の概要

(単位：百万円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増(▲)減	増減率	主な内容
都民安全総合対策本部 計	8,490	2,884	5,606	194.3%	
都民安全総合対策費	8,490	2,884	5,606	194.3%	
管 理 費	8,490	2,884	5,606	194.3%	人件費、治安対策、交通安全対策、若年支援 等

※ 計数については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

都民の安全安心に関する施策

84億9,000万円(28億8,448万円)

少子高齢化や世帯の単身化等、都民生活の変化を捉えつつ、「治安対策」「交通安全対策」「若年支援」の3つを柱として、都民の安全安心に資する施策を総合的に推進

令和7年度の主な取組

1 治安対策の推進

70億8,812万円(14億2,841万円)

- ・ 地域における見守り活動支援 14億2,480万円(7億2,420万円)
 - 町会・自治会や商店街等の地域団体による見守り活動を支援するため、防犯設備の整備等に係る経費の一部を補助
 - 地域団体の活用を促進するため緊急対策として更なる補助率の引上げを実施
 - 地域の防犯活動を支援するために青色防犯パトロール車両の購入や活動拠点の整備を補助対象に追加【新規】
 - 区市町村への補助について補助率を引き上げ、住民の安全確保のために必要な箇所(住宅街等)を補助対象に追加【新規】
- ・ 犯罪被害等のリスクを抱える青少年・若者への支援 5億3,021万円(2億8,460万円)
 - 「トー横」をはじめとする歌舞伎町界限における諸問題に対して、関係機関と連携し、注意喚起等を実施
 - 青少年・若者を犯罪被害等から守るため、相談窓口「きみまも@歌舞伎町」の体制を強化
- ・ 痴漢撲滅プロジェクト 5,000万円(5,000万円)
 - 痴漢被害のない社会の実現のため、鉄道事業者等と連携した啓発活動を行うなど痴漢撲滅に向けた気運醸成等を実施
- ・ 特殊詐欺対策 1億4,731万円(8,571万円)
 - 特殊詐欺における新たな手口の事案への対応について、SNSでの注意喚起を実施
 - 若年層が「闇バイト」等の犯罪に加担することを防ぐため、若年層やその保護者をターゲットとした啓発を強化【新規】
- ・ 防犯機器等購入緊急補助事業助成 46億8,204万円【新規】
 - 都民の体感治安悪化や、防犯意識が高まっている状況を踏まえ、区市町村を通じて防犯機器等の導入を支援

2 交通安全対策の推進

4億277万円(6億2,654万円)

- ・ 自転車に対する「青切符」制度導入を契機とした普及啓発の実施 1,705万円【新規】

青切符制度導入を始めとした道路交通法の改正を契機に、SNS等を活用してルール・マナーの普及啓発などを実施

3 若年支援の推進

3億9,092万円(2億8,894万円)

- ・ 東京都若者総合相談センター「若ナビα」の運営 1億5,186万円(1億3,284万円)

人間関係や仕事、孤独などの悩みを抱える若者等の相談を受け付け、就労・就学等の適切な支援につなぐ窓口を運営

AIを活用して、相談内容の記録・分析を行うことで、都民サービスの質を向上【新規】

- ・ 子供・若者自立等支援体制整備の推進 4,462万円(2,482万円)

社会的自立に困難を有する子供・若者の相談窓口設置や居場所の整備を行う区市町村への補助を拡充